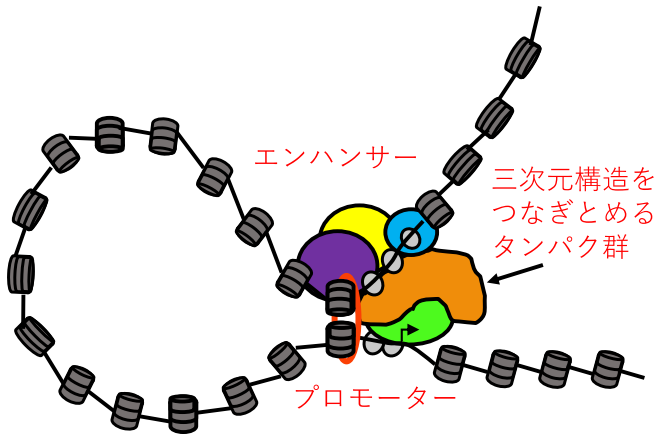


分子病理学研究室 (山本研)



三次元的なゲノム構造(プロモーター・エンハンサーループ)の例

遺伝子発現に関わる2つの領域(プロモーターとエンハンサー)が三次元的に近接することで遺伝子発現が促進される。

がん細胞では三次元ゲノム構造の異常が生じていると考えられているが、まだ不明な点が多い。

→ 診断や治療に応用できる可能性

- 山本研では、分子病理学、分子生物学に興味があり、以下の研究と一緒に進めてくれる人を募集しています。
- 膵臓がんや大腸がんなどの固形がんを中心にがん診断マーカー (microRNAなど) やがん治療標的分子の同定を進めています。
- 再発や転移の原因であると考えられているがん幹細胞の可視化・同定を行える技術の開発や治療薬の創出を目指しています。
- がんの悪性化に関わる三次元的な (立体的な) ゲノム構造異常の解明を目指しています。
- 詳しくは研究室ホームページをご覧ください。
<http://sahswww.med.osaka-u.ac.jp/~yamalab/>
- 山本浩文教授メールアドレス
hyamamoto@sahs.med.osaka-u.ac.jp